

平成27年度 第七回宜野湾市市民協働推進協議会 会議録（要旨）

日時：平成28年3月29日（火）午後7時00分～午後8時30分

場所：宜野湾市役所 第三常任委員会室

出席：岩田委員長、宮城政一副委員長、稲垣暁委員、新城清子委員、前田有得委員、
島袋盛子委員、宮道喜一委員、宮城美由委員、
事務局（3名）

欠席：中本岩郎委員、国吉孝博委員

開会

～事務局より前回協議会の振り返り、
庁内の検討結果報告～

委員 庁内検討結果で課題及びアイデアが明確に提示されているので、自治会や各団体からの意見が出やすくなるのではないかと見えます。

委員 課題及びアイデアに書かれていることを、もし実施計画の中に入れると、より具体的にイメージしやすいので一緒に見れる方がいいが、現時点の情報という感じがする。

委員 実施計画と一緒に見る別冊のようなものではどうか。

委員 実施計画を見るときに平成28年3月現時点ではそこに留意しながら見るという使い方であればいいが、一緒にするというイメージではない。

委員 別冊にして読む。今後自治会や各種団体の意見を集めると充実してくる。

委員 庁内での評価を積み重ねたり、推進するのが庁内協働推進担当者会議だと思うので、どういう組織でメンバーで構成されているかを示した上で、意見を積み上げていく。そういう資料だといいい。

事務局 進捗管理評価する時に参照するいいということですか。

委員 課題及びアイデアの資料は、メンバー構成とで、2月29日と3月9日の2回開催されたことによる意見として、記録として残していただきたい。

～事務局より前回からの修正箇所と「目標の確認」について説明～

委員 以前より、読み進めたいという形に変わっている。

委員 協働の事例が増えることが裾野を広げるうえで重要で、目指しているところは、課題解決であると議論されてきたので、5年後を考えると、「協働による地域の課題解決が進み、評価・発信されている」との文言を目標に入れられないか。

委員 「中間支援機能の確立」は、イメージしづらいので、修飾語を入れた方がいい。

委員 協働の土台づくりはインパクトがあるので、タイトルに入れられないか、また、本計画の5年後の目標よりは、本計画の5年後のビジョンイメージの方が良いのではないかと。

委員 ホームページに掲載した場合、ルビが入った計画はホームページにありますと書くことはできないか。

事務局 作成に時間がかかるので作成した時点で対応したい。

委員 第一章の6 施策指針まではルビをいれて差別解消、合理的配慮を意識しているアピールはあった方がいい。

委員 先程の中間支援機能のところは、地域課題の見える化と解決に繋げる中間支援機能としてはどうか。

～実施計画（案）策定最後の協議会に対して市民協働推進課長より御礼の挨拶～

閉会